

(犯 罪)

平成13年の刑法犯認知件数は7,468件、検挙件数は2,889件、検挙人員は2,167人となっています。

これを前年に比べると、認知件数は786件(11.8%) 検挙人員は257人(13.5%) 増加し、検挙件数は753件(20.7%) 減少しています。

(火 災)

平成13年中の火災発生件数は296件、死傷者47人、損害額5億3544万円となっています。

これを前年に比べると、件数は2件、死傷者は9人減少、損害額は6,755万円増加しています。

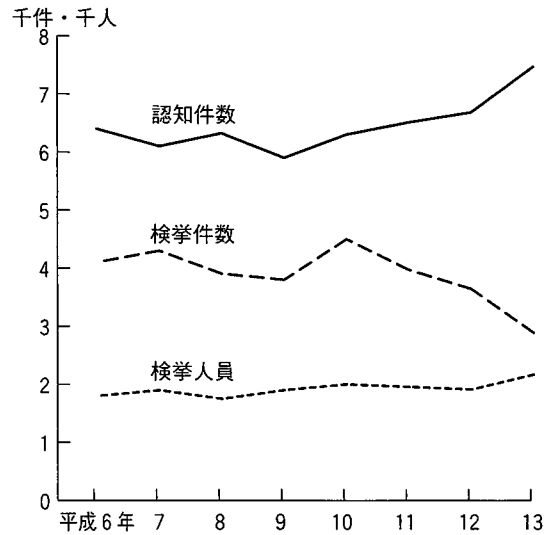
出火原因別では、「その他」「不明・調査中」を除き、「こんろ」が一番多く、以下「放火」(「放火の疑い」を含む)(31件)、「たき火」(29件)、火入れ(20件)、たばこ(15件)となっている。

指 標 名	鳥取県	順位	全国	年次
刑法犯認知件数(人口千人当たり)	12.2件	8	21.6	13
重要犯罪検挙率	70.1%	12	53.0	13
重要窃盗犯検挙率	32.1%	24	27.1	13
火災出火件数(人口10万人当たり)	45.4件	24	46.2	11

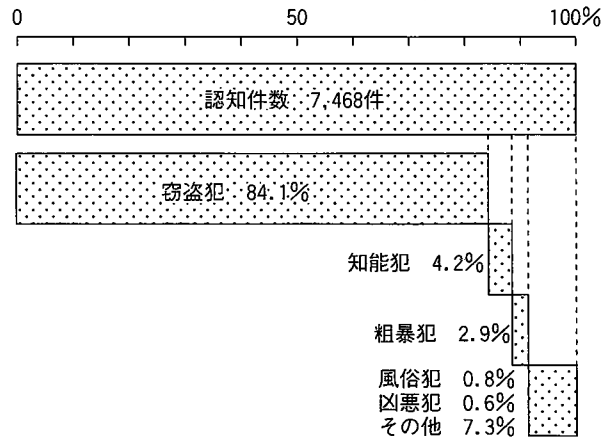
(注) 重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ) 重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり)とは治安情勢を観察する場合に、統計上その指標となる犯罪として掲げるものを言う。

刑法犯認知・検挙件数及び検挙人員

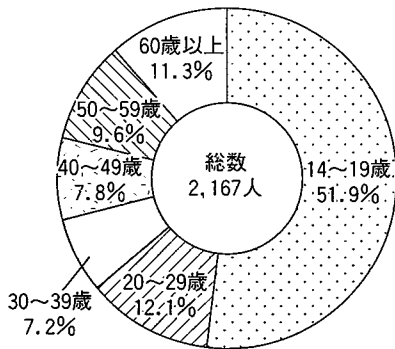
県警察本部



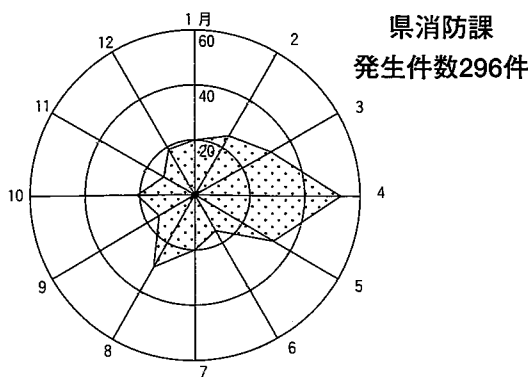
犯罪認知件数の罪種別割合 (平成13年)



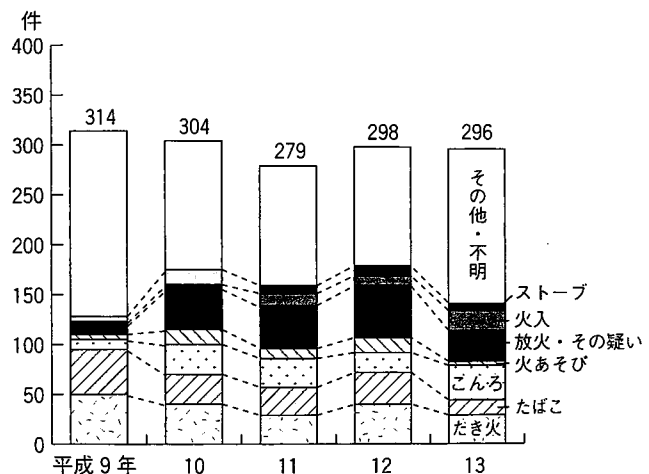
年齢区分別刑法犯検挙人員の割合 (平成13年)



月別火災発生件数 (平成13年)



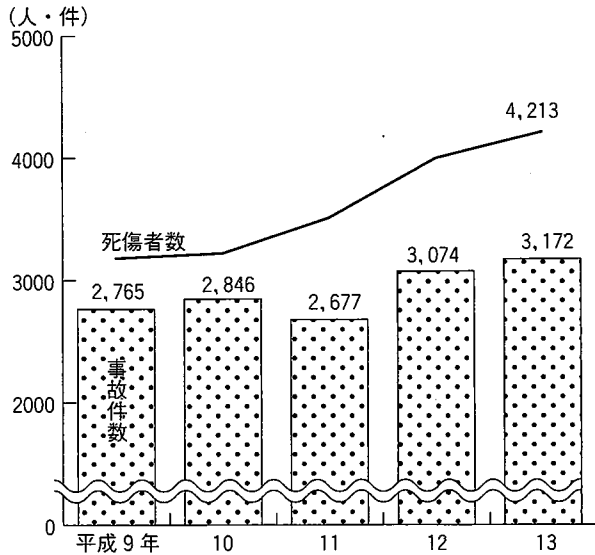
原因別火災発生件数の推移



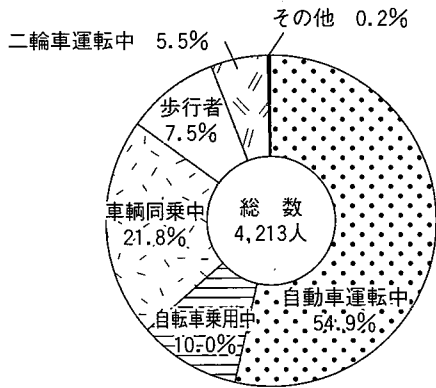
交通事故発生件数及び死傷者数

(事故件数は人身事故のみ)

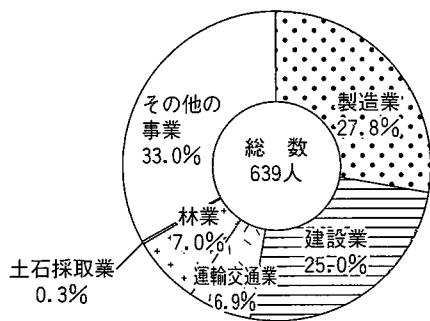
県警察本部



交通事故状態別死傷者の割合 (平成13年)



産業別労働災害死傷者の割合 (平成13年)



(交通事故)

平成13年中に県下で発生した交通事故は、3,172件、死者61人、傷者4,152人と、前年に比べ98件増加、死者6人増加、傷者209人増加しました。

(労働災害)

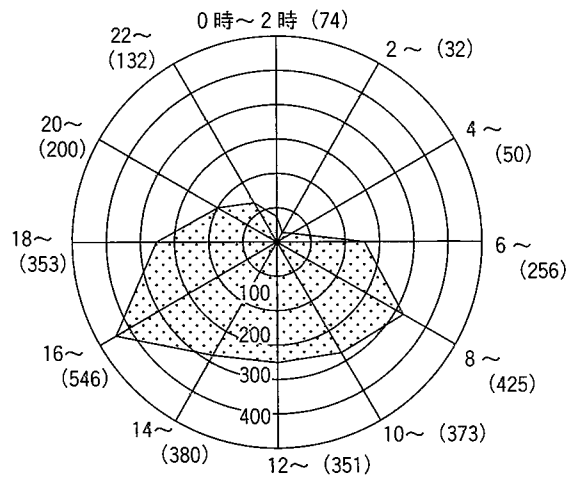
平成13年中の労働災害死傷者数は639人となっています。

産業別に見ると製造業(27.8%)が最も多く、次いで建設業(25.0%)、運輸交通業の順になっています。

指 標 名	鳥取県	ベスト順位	全国	年次
交通事故発生件数(人口10万人当たり)	517.2件	5	746.2	13
死傷者数()	687.0人	5	937.3	13

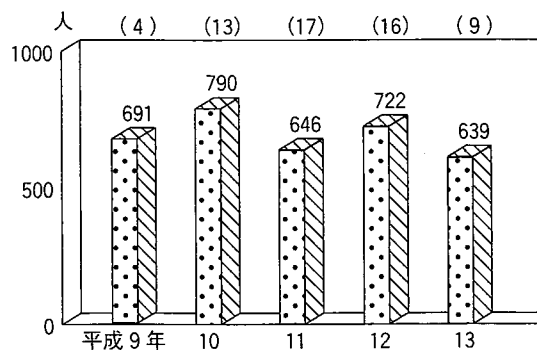
時間帯別交通事故発生件数 (平成13年)

発生件数3,172件



労働災害死傷者数

鳥取労働局



・休業4日以上の死傷者数の合計

・ () は死亡者数で内数